

各 位

会 社 名 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
 代表者名 代表取締役社長 角野 中原
 (コード番号 2573 東証第2部・札証)
 問合せ先 取締役経営管理部担当 青木 利壽
 TEL (011) 888-2051

通期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年11月13日に公表いたしました平成20年12月期(平成20年1月1日～平成20年12月31日)の通期業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成20年12月期 連結業績予想数値の修正(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	72,300	300	250	130	3 56
今回修正予想(B)	71,700	380	410	40	1 09
増減額(B-A)	600	80	160	90	-
増減率(%)	0.8	26.7	64.0	69.2	-
前期(平成19年12月期)実績	73,494	1,368	1,358	835	22 86

2. 平成20年12月期 個別業績予想数値の修正(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	62,500	50	200	50	1 37
今回修正予想(B)	61,800	80	160	140	3 83
増減額(B-A)	700	130	40	190	-
増減率(%)	1.1	-	20.0	-	-
前期(平成19年12月期)実績	63,630	907	1,075	808	22 13

3. 修正の理由

(1) 連結業績

米国発の金融危機が实体经济に影響を及ぼし、景気後退の波が世界中に広がっております。当社グループの取り巻く市場環境は金融不安の再燃が懸念されている中、雇用の悪化と低価格指向および個人消費のよりいっそうの冷え込みにより売上高は予想を下回る見込みであります。

営業利益、経常利益においては、売上高の減少を補うべくコスト低減に努めた結果、予想を上回る見込みであります。また、当期純利益は、保有する遊休固定資産の減損損失を計上したことにより、予想を下回る見込みであります。

(2) 個別業績

売上高は連結と同じ要因で予想を下回る見込みであります。

収益面においては、販売価格の低下や原材料等の高騰による売上原価率の上昇により収益が悪化したことと、連結と同様に減損損失を計上したことにより予想を下回る見込みのため、上記のとおり業績予想を修正いたします。

以 上